

廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

1 アンケート調査の実施時期

・平成17年8月 実施

2 県政モニター数

(1) 一般モニター（郵送によるアンケート調査） 353人

(2) インターネットモニター（電子メールによるアンケート調査） 118人

合 計 471人

3 回答数

(1) 一般モニター（郵送によるアンケート調査） 260人

(2) インターネットモニター（電子メールによるアンケート調査） 83人

合 計 343人

回答率 72.8%

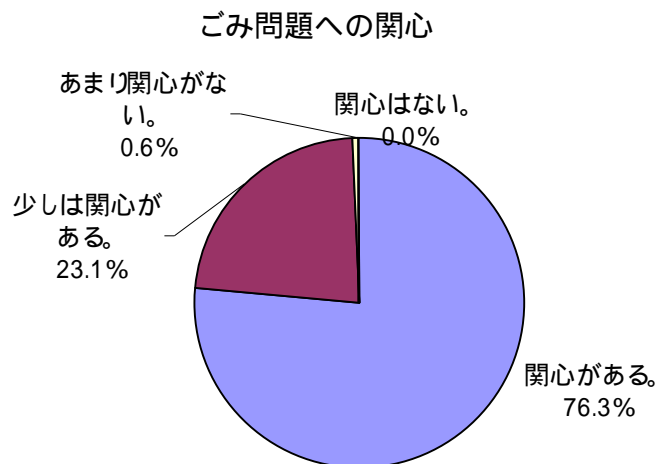
4 集計結果

(1) 廃棄物（ごみ）に関すること

問1 ごみ問題について（一つ選択）

「関心がある」、「少し関心がある」で99.4%を占めている。

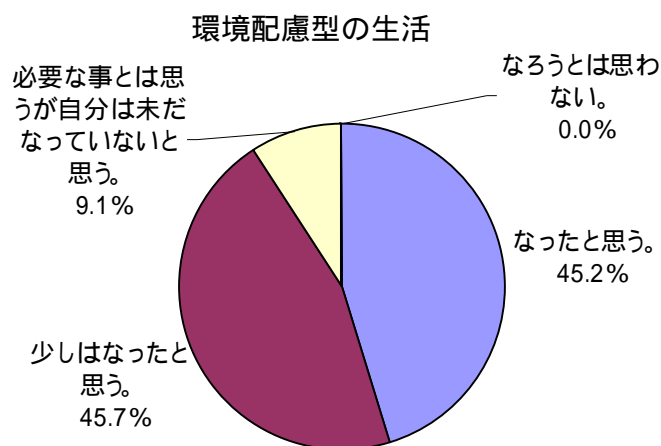
選択肢	回答数	構成比
関心がある。	261	76.3%
少しは関心がある。	79	23.1%
あまり関心がない。	2	0.6%
関心はない。	0	0.0%
合 計	342	100.00%



問2 ごみをなるべく少なくしたり、リサイクルに回すなど、最近の自分の生活が環境配慮型になったと思いますか？（一つ選択）

「なったと思う」、「少しはなったと思う」で90.9%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
なったと思う。	154	45.2%
少しはなったと思う。	156	45.7%
必要な事とは思いますが自分は未だなっていないと思う。	31	9.1%
なろうとは思わない。	0	0.0%
合計	341	100.0%

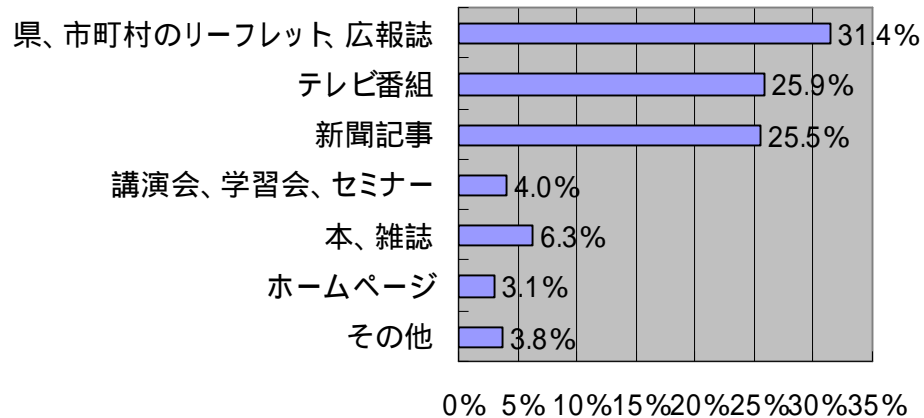


問3 ごみ問題の情報、知識はどこから入手していますか？（一つ選択）

「県、市町村のリーフレット、広報誌」が31.4%、「テレビ番組、新聞記事のメディア」が51.4%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
県、市町村のリーフレット、広報誌	273	31.4%
テレビ番組	225	25.9%
新聞記事	222	25.5%
講演会、学習会、セミナー	35	4.0%
本、雑誌	55	6.3%
ホームページ	27	3.1%
その他	33	3.8%
合計	870	100.0%

ごみ問題の知識、情報の入手方法



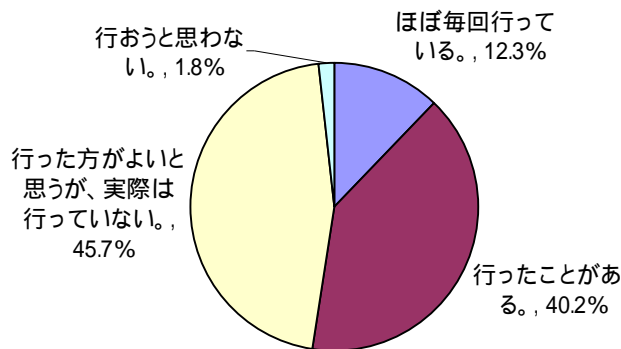
(2) ごみ減量化の取り組みについて

問5 ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？ (一つ選択)

「ほぼ毎回行っている。」「行ったことがある。」で、52.5%、「行った方がよいと思うが、実際は行っていない。」で、45.7%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
ほぼ毎回行っている。	42	12.3%
行ったことがある。	137	40.2%
行った方がよいと思うが、実際は行っていない。	156	45.7%
行おうと思わない。	6	1.8%
合計	341	100%

買い物袋の持参状況

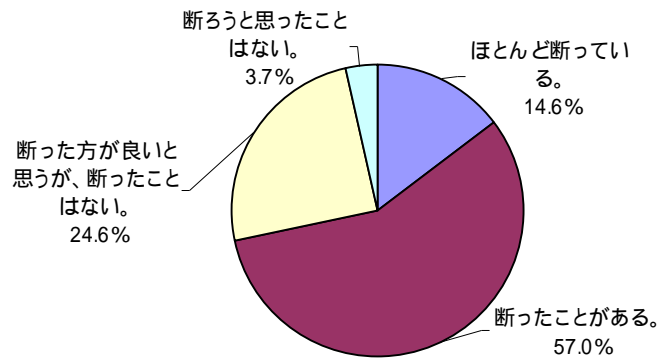


問6 ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装を断っていますか？ (一つ選択)

「ほとんど断っている」「断ったことがある」が71.6%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
ほとんど断っている。	51	14.6%
断ったことがある。	199	57.0%
断った方が良いと思うが、断ったことはない。	86	24.6%
断ろうと思ったことはない。	13	3.7%
合計	349	100%

過剰包装の拒否

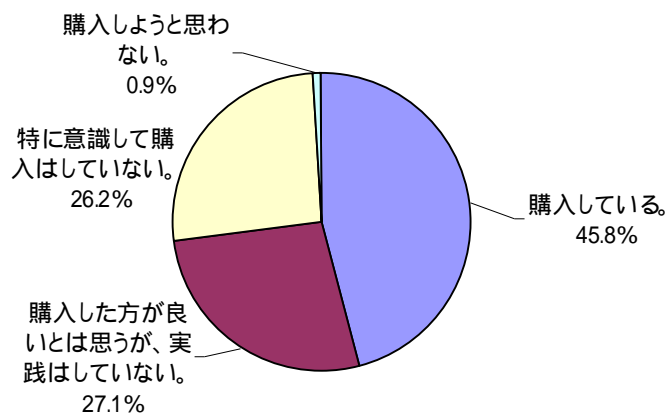


問7 あなたは商品を購入するとき、簡易包装などごみが少なくなるものや長期使用できるもの（使い捨て商品でないもの）を選んで購入していますか？（一つ選択）

「購入している」が45.8%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
購入している。	159	45.8%
購入した方が良いとは思いますが、実践はしていない。	94	27.1%
特に意識して購入はしていない。	91	26.2%
購入しようと思わない。	3	0.9%
合計	347	100%

簡易包装商品、使い捨て以外商品の購入



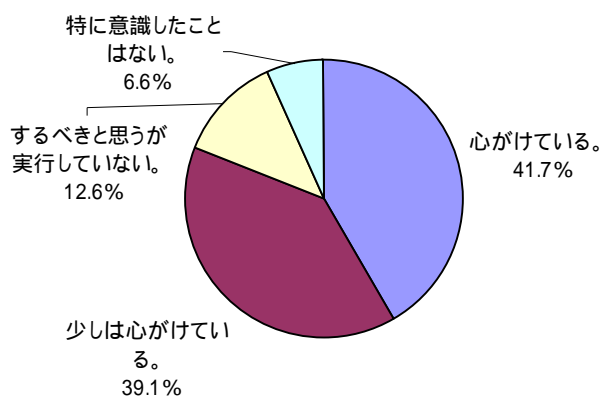
問8 残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫していますか？

(一つ選択)

「心がけている」「少しは心がけている」が80.8%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
心がけている。	145	41.7%
少しは心がけている。	136	39.1%
するべきと思うが実行していない。	44	12.6%
特に意識したことはない。	23	6.6%
合計	348	100%

生ごみの減量化



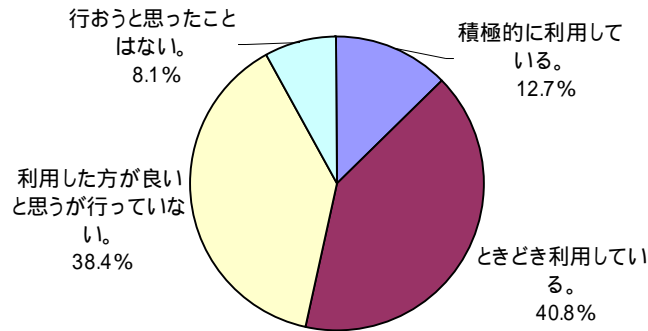
問9 一時的に必要な物については、商品を購入するのではなく、レンタルなどの利用やリユース品(中古品)の購入などを行っていますか？

(一つ選択)

「積極的に利用している」「ときどき利用している」が、53.5%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
積極的に利用している。	44	12.7%
ときどき利用している。	141	40.8%
利用した方が良いと思うが行っていない。	133	38.4%
行おうと思ったことはない。	28	8.1%
合計	346	100%

リユースの取組



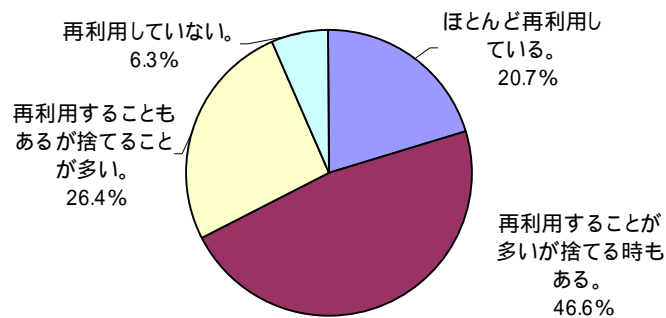
問10 古着などは捨てずに、資源物の回収に出したり、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？

(一つ選択)

「ほとんど再利用している」「再利用することが多いが捨てる時もある」で67.3%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
ほとんど再利用している。	72	20.7%
再利用することが多いが捨てる時もある。	162	46.6%
再利用することもあるが捨てることが多い。	92	26.4%
再利用していない。	22	6.3%
合計	348	100%

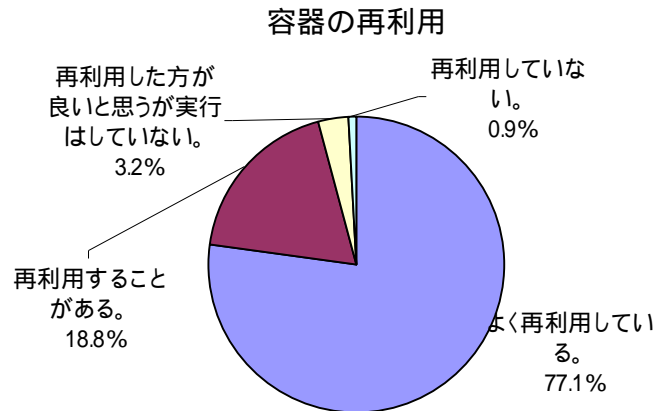
布類のリサイクル



問11 洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用(リユース)をしていますか？ (一つ選択)

「よく再利用している」「再利用することがある」が95.9%を占めている。

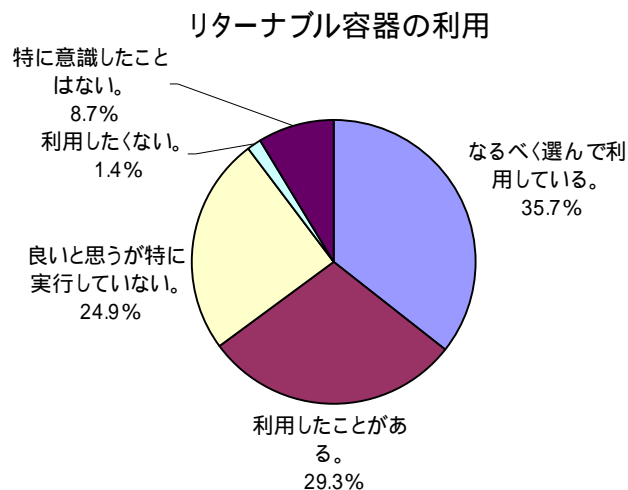
選択肢	回答数	構成比
よく再利用している。	266	77.1%
再利用することがある。	65	18.8%
再利用した方が良いと思うが実行はしていない。	11	3.2%
再利用していない。	3	0.9%
合計	345	100%



問12 ビン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きピンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？（一つ選択）

「なるべく選んで利用している」「利用したことがある」が65%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
なるべく選んで利用している。	123	35.7%
利用したことがある。	101	29.3%
良いと思うが特に実行していない。	86	24.9%
利用したくない。	5	1.4%
特に意識したことはない。	30	8.7%
合計	345	100%



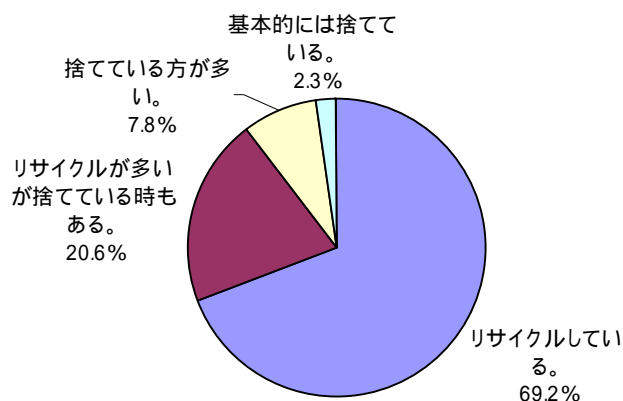
(3) リサイクルの推進について

問13 ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（一つ選択）

「リサイクルしている」「リサイクルが多いが捨てている時もある」が89.8%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
リサイクルしている。	238	69.2%
リサイクルが多いが捨てている時もある。	71	20.6%
捨てている方が多い。	27	7.8%
基本的には捨てている。	8	2.3%
合計	344	100%

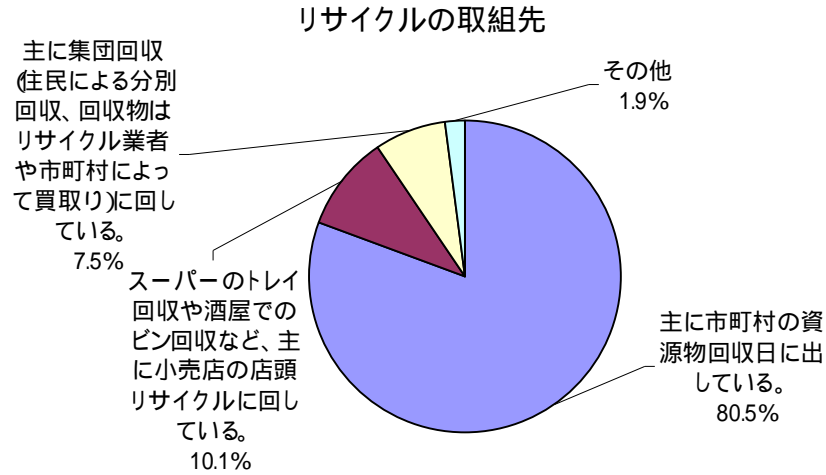
リサイクルの取組



問14 問13で「リサイクルしている」「リサイクルが多いが捨てている時もある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（一つ選択）

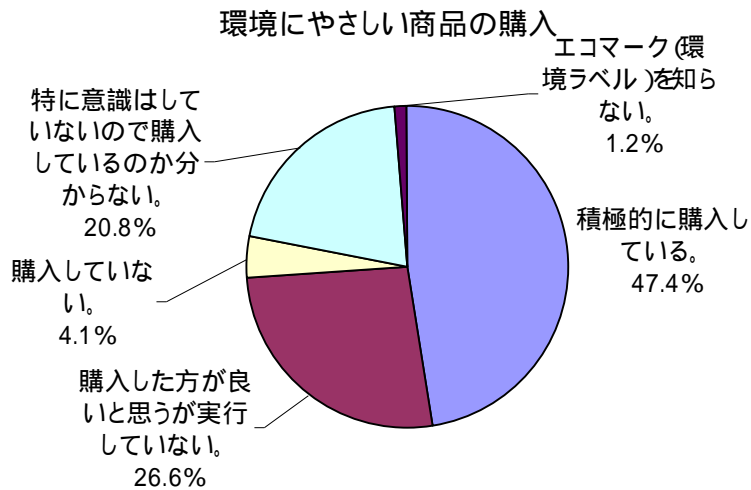
「主に市町村の資源物回収日に出している」が80.5%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
主に市町村の資源物回収日に出している。	256	80.5%
スーパーのトレイ回収や酒屋でのビン回収など、主に小売店の店頭リサイクルに回している。	32	10.1%
主に集団回収(住民による分別回収、回収物はリサイクル業者や市町村によって買取)に回している。	24	7.5%
その他	6	1.9%
合計	318	100%



問16 エコマークなど、環境にやさしい商品であることを表すマーク(いわゆる環境ラベル)の入った商品を購入していますか？(例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など)(一つ選択)
 「積極的に購入している」が、47.4%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
積極的に購入している。	162	47.4%
購入した方が良いと思うが実行していない。	91	26.6%
購入していない。	14	4.1%
特に意識はしていないので購入しているのか分からない。	71	20.8%
エコマーク(環境ラベル)を知らない。	4	1.2%
合計	342	100%

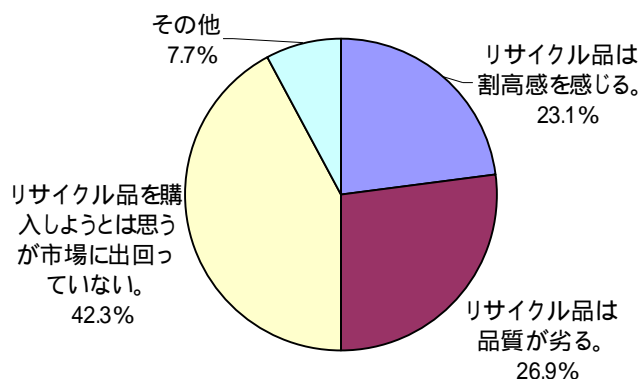


問17 問16で「環境にやさしい商品を購入していない。」を選択された方はその理由を一つ選んでお答え下さい。

「リサイクル品は割高感を感じる」「リサイクル品は品質が劣る」が50.0%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
リサイクル品は割高感を感じる。	6	23.1%
リサイクル品は品質が劣る。	7	26.9%
リサイクル品を購入しようとは思いますが市場に出回っていない。	11	42.3%
その他	2	7.7%
合計	26	100%

環境にやさしい商品を購入しない理由

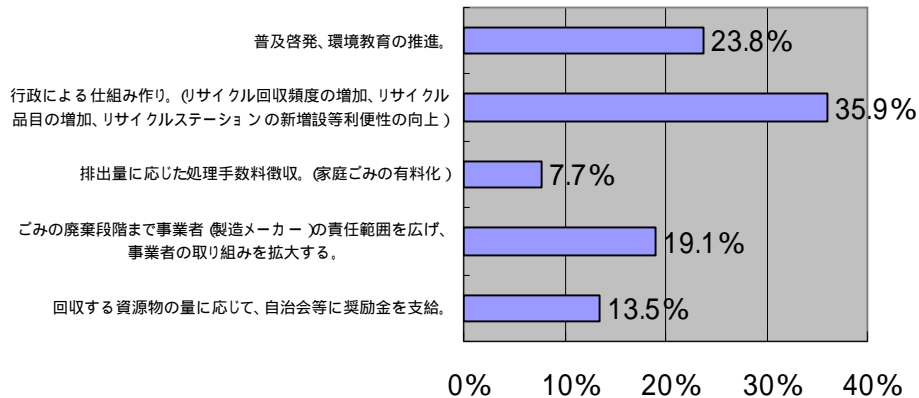


問19 ごみを減らしていくためにはどのような方法が効果的だと思いますか。(二つ選択)

「行政による仕組み作り。(リサイクル回収頻度の増加、リサイクル品目の増加、リサイクルステーションの新增設等利便性の向上)」が35.9%
「普及啓発、環境教育の推進」が23.8%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
普及啓発、環境教育の推進。	161	23.8%
行政による仕組み作り。(リサイクル回収頻度の増加、リサイクル品目の増加、リサイクルステーションの新增設等利便性の向上)	243	35.9%
排出量に応じた処理手数料徴収。(家庭ごみの有料化)	52	7.7%
ごみの廃棄段階まで事業者(製造メーカー)の責任範囲を広げ、事業者の取り組みを拡大する。	129	19.1%
回収する資源物の量に応じて、自治会等に奨励金を支給。	91	13.5%
合計	676	100%

ごみ減量化の効果的な方法

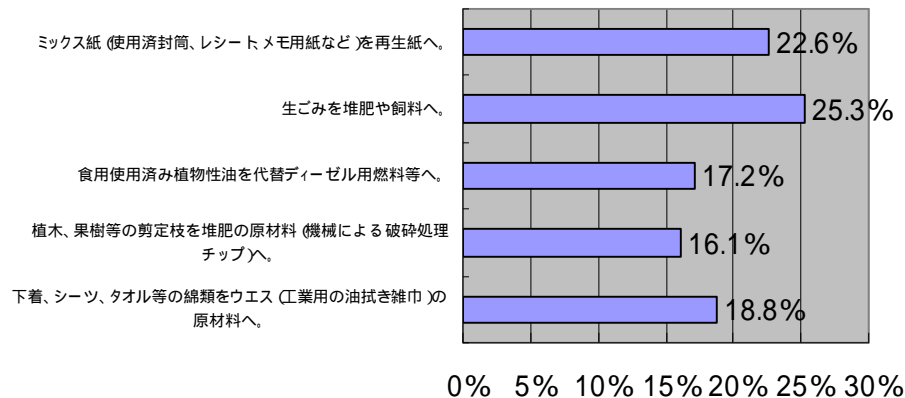


問20 リサイクルを今後さらに進めるためには、どのようなリサイクルが必要だと思いますか？（いくつでも選択）

必要なリサイクル品目として「生ごみを堆肥や飼料へ」が25.3%、「ミックス紙（使用済封筒、レシート、メモ用紙など）を再生紙へ」が22.6%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
ミックス紙(使用済封筒、レシート、メモ用紙など)を再生紙へ。	259	22.6%
生ごみを堆肥や飼料へ。	290	25.3%
食用使用済み植物性油を代替ディーゼル用燃料等へ。	197	17.2%
植木、果樹等の剪定枝を堆肥の原材料(機械による破碎処理チップ)へ。	185	16.1%
下着、シーツ、タオル等の綿類をウエス(工業用の油拭き雑巾)の原材料へ。	216	18.8%
合計	1,147	100%

必要なリサイクル品目



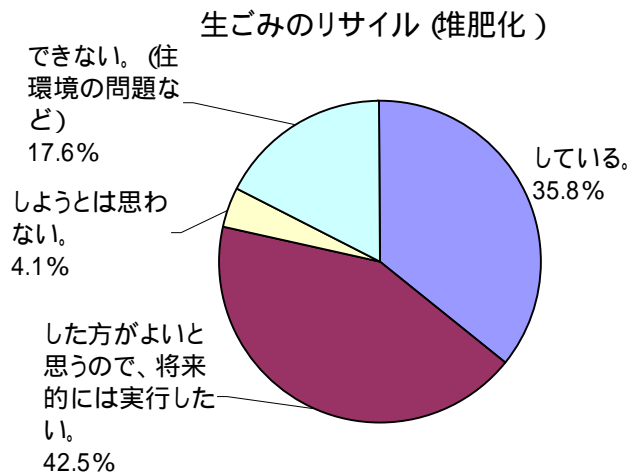
(4) 生ごみのリサイクルの推進について

生ごみは可燃ごみの23%（重量比）を占めていますが、ほとんどが焼却処理されています。ゴミ減量化にとって、生ごみのリサイクルは重要な課題です。

問2-1 生ごみをリサイクルして堆肥化していますか？（一つ選択）

「している」が35.8%「した方がよいと思うので、将来的には実行したい」が42.5%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
している。	122	35.8%
した方がよいと思うので、将来的には実行したい。	145	42.5%
しようとは思わない。	14	4.1%
できない。(住環境の問題など)	60	17.6%
合計	341	100%



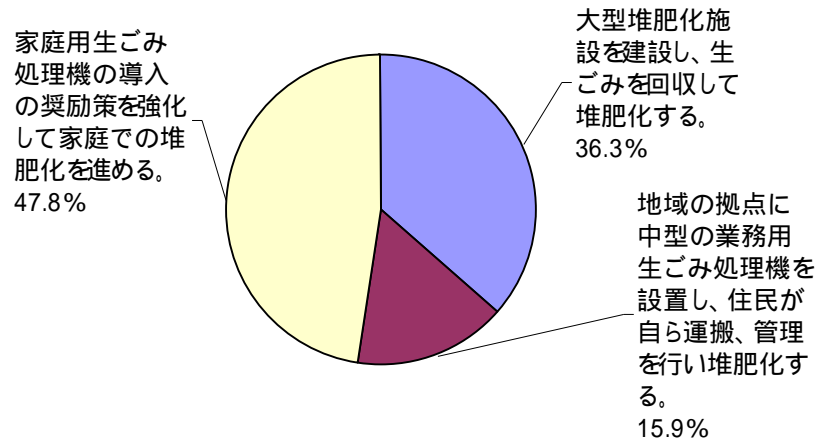
問2-2 生ごみをリサイクルする方法としてどれが望ましいと思いますか。

(一つ選択)

「家庭用生ごみ処理機の導入の奨励策を強化して家庭での堆肥化を進める」が47.8%。「大型堆肥化施設を建設し、生ごみを回収して堆肥化する」が36.3%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
大型堆肥化施設を建設し、生ごみを回収して堆肥化する。	123	36.3%
地域の拠点に中型の業務用生ごみ処理機を設置し、住民が自ら運搬、管理を行い堆肥化する。	54	15.9%
家庭用生ごみ処理機の導入の奨励策を強化して家庭での堆肥化を進める。	162	47.8%
合計	339	100%

生ごみリサイクルの望ましい方法

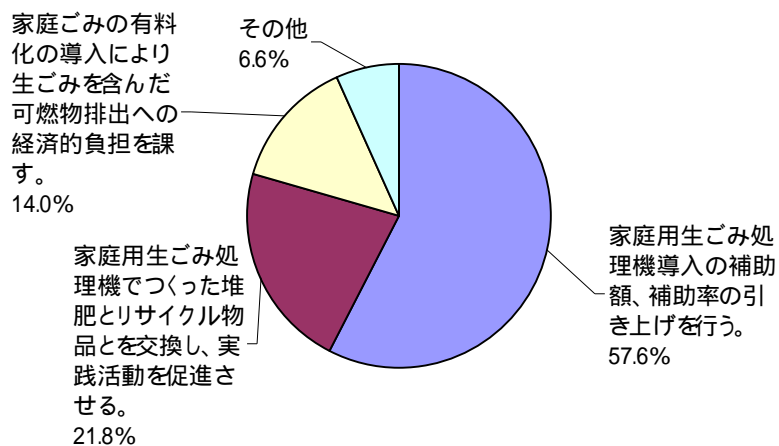


問23 家庭用生ごみ処理機(電気式、コンポスト式等)の県内普及率は、推定で5.1%です。普及率を上げるのにどのような方法が効果的だと思いますか？(一つ選択)

「家庭用生ごみ処理機導入の補助額、補助率の引き上げを行う」が57.6%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
家庭用生ごみ処理機導入の補助額、補助率の引き上げを行う。	193	57.6%
家庭用生ごみ処理機でつくった堆肥とリサイクル物品とを交換し、実践活動を促進させる。	73	21.8%
家庭ごみの有料化の導入により生ごみを含んだ可燃物排出への経済的負担を課す。	47	14.0%
その他	22	6.6%
合計	335	100%

家庭用生ごみ処理機の普及方法



問24 問23で「その他」を選んだ方は内容をご記入ください。

導入費用は無料化してください(電気代などは持ちますから)。以前実行したことはありますが、処理した堆肥等の処分に困って止めてしまった、したがって回収作業などを定期的に行うべきと思う(無料で)
行政が導入をし、配布する！何でも 個人家庭に頼り過ぎない！
堆肥化しても、堆肥の嫁ぎ先があるのか？きちんとした流れを作ってから、堆肥化の推進をするべし。
少人数家族ではそれほどまとまった生ゴミが出ない。処理機の設置場所、大きさと出来た堆肥の処理方法に不安を感じる。
推定不能、普及率の高い地域では何%ぐらいでしょうか。導入への取り組み方法はあったのでしょうか。今回の多くの設問は恣意的で、回答の偏りが懸念されます。
販売価格の低料金化
マンションや賃貸住宅の利用者および庭のない(少ない)家がある場合は、生ゴミ処理機導入は出来ない。やらない。処理機の導入に補助金を出すのであればそのお金で処理施設を造るのがよいと思う。
国から支給する。
甲府市中心地では「生ゴミ処理機」を導入しても、その土を捨てる場所がありませんし、「超高齢化」が進行中の地域(旧甲府市内等)では、問題も多いのでは？ (個人的には「ア」を支持します。)
欲しい人にはゴミ処理機無料配布し分解菌(バクテリア)を有料化
家庭用生ゴミ処理機を用いて発生した堆肥は、どうなりますか？家庭菜園でも有ればよいのですが、又、そんな趣味も有りませんし、結局その処分方法を確立しなければあえてわざわざ高い金額をかけて処理機を買う必要がありません。 大型の堆肥化施設を導入したほうが良いのではないのでしょうか。
住環境でできないことも多いと思うので、生ゴミ処理は難しいかもわかりません。 なるべく食材処理で ごみにしないようにと 努力するように 料理に方法を推奨するのも 一つ提案できるかもしれませんね。
農地を少し持っているので生ごみは全て埋めている。
処理機で作っても処理場所がない
粗大ゴミの搬入
これ以上お金をかけないで処理できることが良い。家計は火の車です。ゴミは出さないように努力します
行政で行うべきだ
団地アパート住まいの人が堆肥を作っても使用するところがないので普及しづらいのでは
生ごみだけを集めるを決めて出し中型のゴミ処理機で堆肥化する
市町村単位で普及する。老人一人暮らしの方など多いため分かりやすく説明しなければ使いこなせない
作った堆肥を「A」などに売れるシステムを作れば積極的に活動する人がいるのではないかと
導入の補助をするのと同時にゴミとして出す場合は負担を設ける
補助を受けて購入したがすぐ壊れた。一度きりの補助ではなく恒久的に補助を受けられるシステムづくり

(4) 家庭ごみの有料化について

現在、お住まいの市町村によっては、ごみの指定袋を販売しているところもあります。現在の指定袋の価格は、主に袋の製作費と販売店の手数料からなっています。

家庭ごみの有料化とは、この袋の価格にごみ処理手数料を加えて販売することです。従って、家庭から出るごみの量が増えれば、支払う金額も増えることとなります。

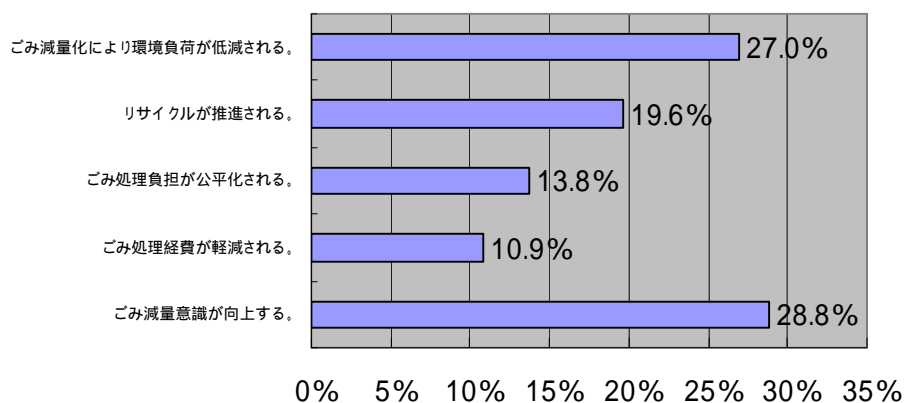
現在、価格の中にごみ処理手数料が含まれているのは県内でも一部の市町村です。県内の平均的な指定袋の製作費、販売店の手数料の合計額は、一枚当たり12.6円です。

問25 家庭ごみ有料化のメリットは、何だと思えますか。(三つまで選択)

「ごみ減量意識が向上する」が28.8%、「ごみ減量化により環境負荷が低減される」が27.0%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
ごみ減量化により環境負荷が低減される。	231	27.0%
リサイクルが推進される。	168	19.6%
ごみ処理負担が公平化される。	118	13.8%
ごみ処理経費が軽減される。	93	10.9%
ごみ減量意識が向上する。	247	28.8%
合計	857	100%

家庭ごみ有料化のメリット



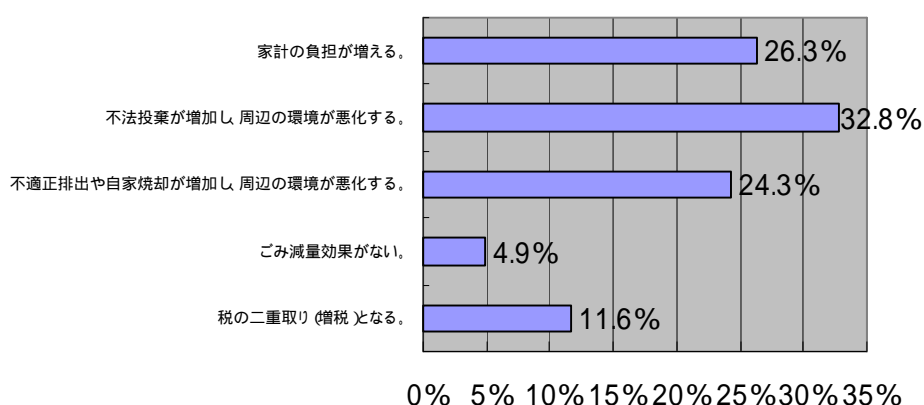
問26 家庭ごみ有料化のデメリットは、何だと思えますか。(三つまで選択)

「不法投棄が増加し、周辺の環境が悪化する」32.8%「家計の負担が増える」26.3%「不適正排出や自家焼却が増加し、周辺の環境が悪化

する」24.3%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
家計の負担が増える。	235	26.3%
不法投棄が増加し、周辺の環境が悪化する。	293	32.8%
不適正排出や自家焼却が増加し、周辺の環境が悪化する。	217	24.3%
ごみ減量効果がない。	44	4.9%
税の二重取り(増税)となる。	104	11.6%
合計	893	100%

家庭ごみ有料化のデメリット

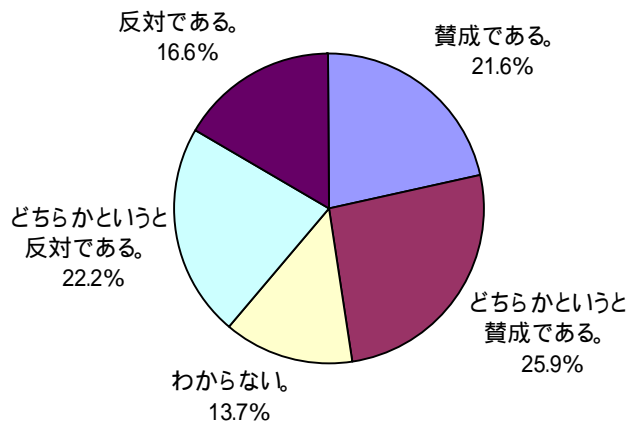


問27 家庭ごみの有料化について(一つ選択)

「賛成である」「どちらかという賛成である」が47.5%「どちらかという反対である」「反対である」が38.8%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
賛成である。	74	21.6%
どちらかという賛成である。	89	25.9%
わからない。	47	13.7%
どちらかという反対である。	76	22.2%
反対である。	57	16.6%
合計	343	100%

家庭ごみの有料化

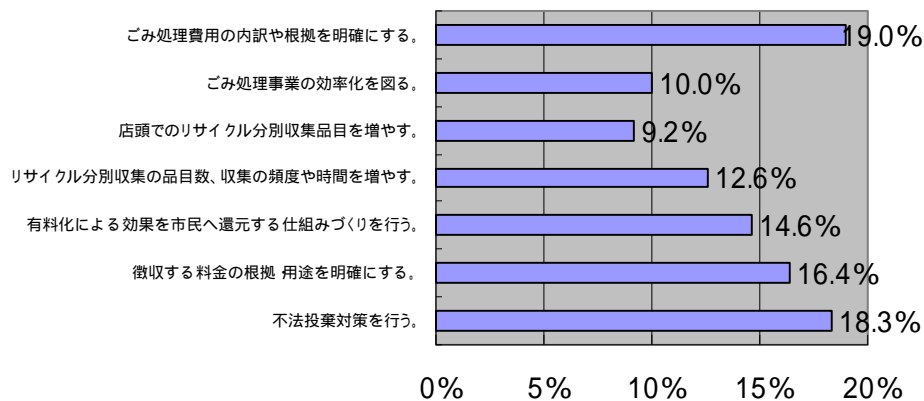


問 2 8 家庭ごみの有料化を実施する場合の条件は何だと思えますか？
（三まで選択）

「ごみ処理費用の内訳や根拠を明確にする」が19.0% 「不法投棄対策を行う」が18.3% 「徴収する料金の根拠・用途を明確にする」が16.4%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
ごみ処理費用の内訳や根拠を明確にする。	189	19.0%
ごみ処理事業の効率化を図る。	99	10.0%
店頭でのリサイクル分別収集品目を増やす。	91	9.2%
リサイクル分別収集の品目数、収集の頻度や時間を増やす。	125	12.6%
有料化による効果を市民へ還元する仕組みづくりを行う。	145	14.6%
徴収する料金の根拠・用途を明確にする。	163	16.4%
不法投棄対策を行う。	182	18.3%
合計	994	100%

家庭ごみ有料化の実施条件

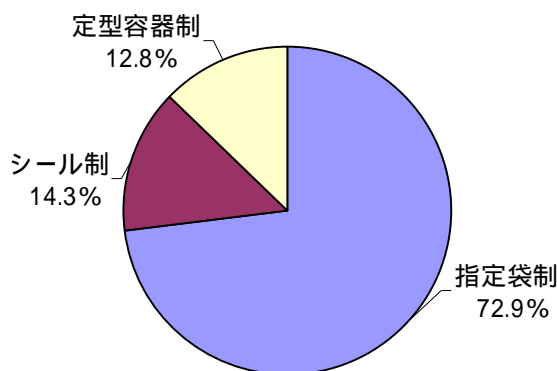


問 2 9 徴収方法はどれが望ましいですか。(一つ選択)

指定袋制(販売店を通じて袋を購入して排出する。)が72.9%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
指定袋制(販売店を通じて袋を購入して排出する。)	245	72.9%
シール制(販売店を通じてシールを購入し、ごみ袋や容器に貼付けて排出する。)	48	14.3%
定型容器制(使用する容器の個数と大きさをあらかじめ選んで市町村と契約し、用意された容器で排出)	43	12.8%
合計	336	100%

家庭ごみ有料化の徴収方法

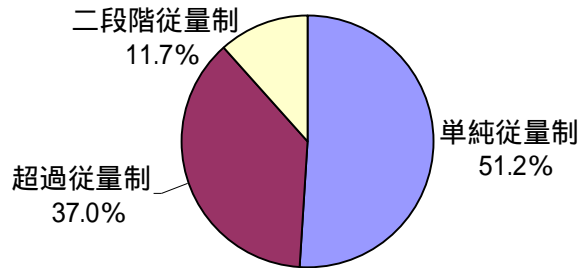


問 3 0 家庭ごみの有料化の徴収方式はどれが望ましいですか。(一つ選択)

単純従量制(1枚当たりの指定袋料金は固定。使用する指定袋等の枚数に応じて負担額が大きくなる。)が51.2%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
単純従量制(1枚当たりの指定袋料金は固定。使用する指定袋等の枚数に応じて負担額が大きくなる。)	170	51.2%
超過従量制(年間一定枚数の指定袋等を無料配付し、それを超えた分は有料とする。排出量に応じて負担額も大きくなる。)	123	37.0%
二段階従量制(年間一定枚数の指定袋等について低い価格で販売し、それを超えると一枚当たりの価格が高くなる。)	39	11.7%
合計	332	100%

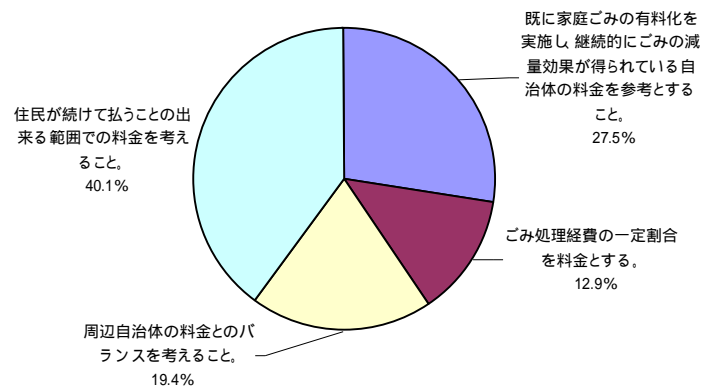
家庭ごみの有料化の徴収方法



問3 1 料金を考える場合に優先すべきことはどれですか。(一つ選択)
 「住民が続けて払うことの出来る範囲での料金を考えること」が40.1%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
既に家庭ごみの有料化を実施し、継続的にごみの減量効果が得られている自治体の料金を参考とすること。	166	27.5%
ごみ処理経費の一定割合を料金とする。	78	12.9%
周辺自治体の料金とのバランスを考えること。	117	19.4%
住民が続けて払うことの出来る範囲での料金を考えること。	242	40.1%
合計	603	100%

家庭ごみの有料料金の優先検討項目

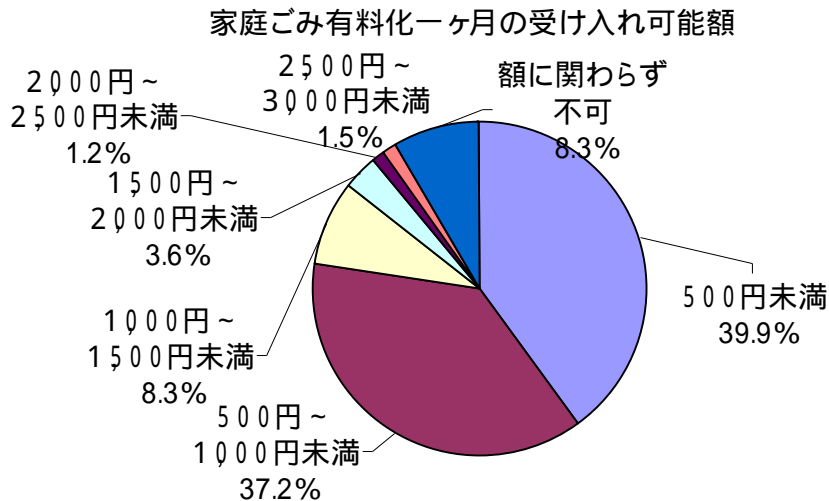


問3 2 実施する場合、一世帯当たり一ヶ月でどの程度の負担なら受け入れが可能ですか。(一つ選択)

「500円未満」「500円～1,000円未満」で77.1%を占めてい

る。

選択肢	回答数	構成比
500円未満	134	39.9%
500円～1000円未満	125	37.2%
1000円～1500円未満	28	8.3%
1500円～2000円未満	12	3.6%
2000円～2500円未満	4	1.2%
2500円～3000円未満	5	1.5%
額に関わらず不可	28	8.3%
合計	336	100%



(5) 戸別収集について

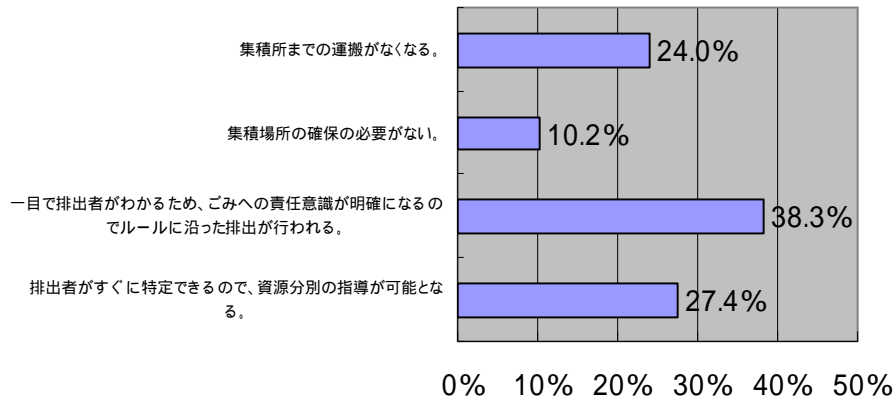
戸別収集とは、道路に面した自宅敷地内に家庭ごみを排出してもらい、回収する方法です。(現在は各自が集積場所に持ち込んだごみを回収する拠点回収を行っています。)

問33 戸別収集のメリットは、何だと思いますか。(二つ選択)

「一目で排出者がわかるため、ごみへの責任意識が明確になるのでルールに沿った排出が行われる」が38.3%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
集積所までの運搬がなくなる。	155	24.0%
集積場所の確保の必要がない。	66	10.2%
一目で排出者がわかるため、ごみへの責任意識が明確になるのでルールに沿った排出が行われる。	247	38.3%
排出者がすぐに特定できるので、資源分別の指導が可能となる。	177	27.4%
合計	645	100%

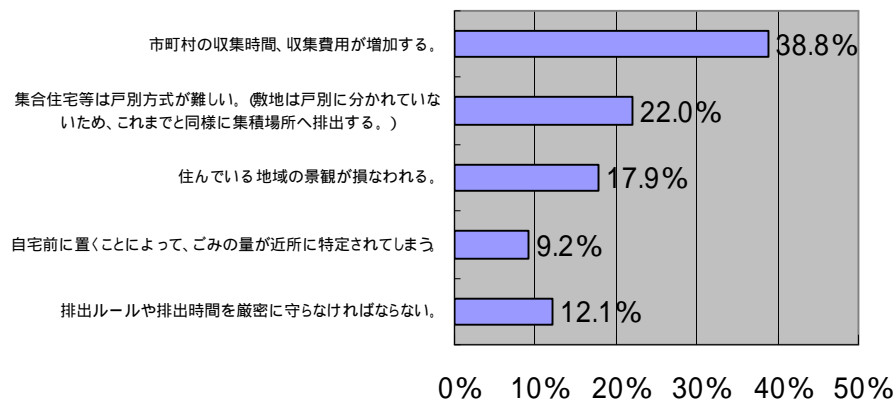
戸別収集のメリット



問34 戸別収集のデメリットは、何だと思えますか。(二つ選択)
 「市町村の収集時間、収集費用が増加する」が38.8%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
市町村の収集時間、収集費用が増加する。	250	38.8%
集合住宅等は戸別方式が難しい。(敷地は戸別に分かれていないため、これまでと同様に集積場所へ排出している地域の景観が損なわれる。	142	22.0%
住んでいる地域の景観が損なわれる。	115	17.9%
自宅前に置くことによって、ごみの量が近所に特定されてしまう。	59	9.2%
排出ルールや排出時間を厳密に守らなければならない。	78	12.1%
合計	644	100%

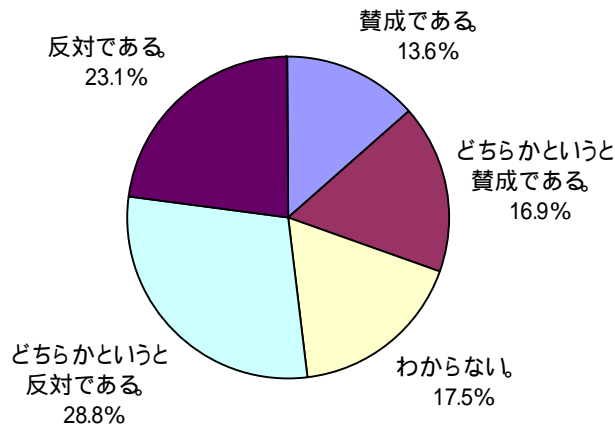
戸別収集のデメリット



問35 戸別収集について(一つ選択)
 「賛成である」「どちらかという賛成である」が30.5%
 「どちらかという反対である」「反対である」が51.9%を占めている。

選択肢	回答数	構成比
賛成である。	46	13.6%
どちらかという賛成である。	57	16.9%
わからない。	59	17.5%
どちらかという反対である。	97	28.8%
反対である。	78	23.1%
合計	337	100%

戸別収集について

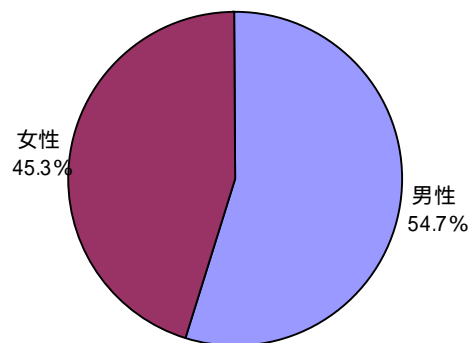


(5) その他

問36 あなたの性別はどちらですか。

選択肢	回答数	構成比
男性	187	54.7%
女性	155	45.3%
合計	342	100%

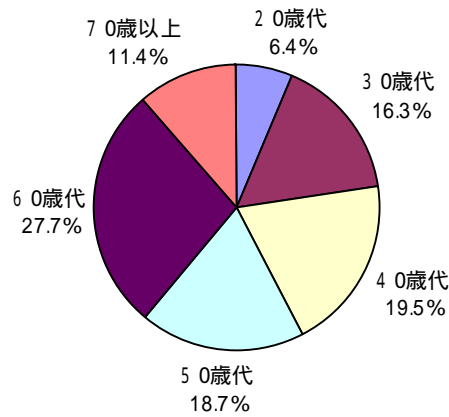
性別



問37 あなたの年齢はおいくつですか。(平成17年8月1日現在)

選択肢	回答数	構成比
20歳代	22	6.4%
30歳代	56	16.4%
40歳代	67	19.6%
50歳代	64	18.7%
60歳代	95	27.8%
70歳以上	39	11.4%
合計	343	100%

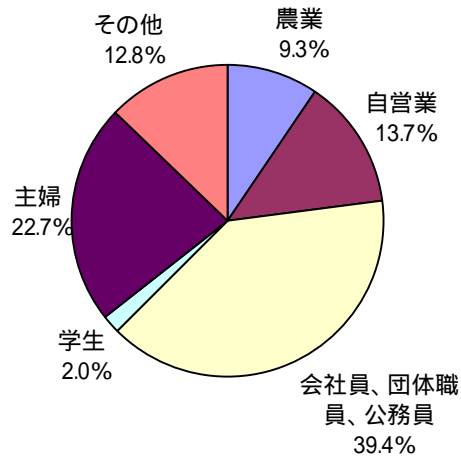
年 齢



問38 あなたの職業をお尋ねします。(平成17年8月1日現在)

選択肢	回答数	構成比
農業	32	9.3%
自営業	47	13.7%
会社員、団体職員、公務員	135	39.4%
学生	7	2.0%
主婦	78	22.7%
その他	44	12.8%
合計	343	100%

職 業



問40 お住まいの地域をお尋ねします。(平成17年8月1日現在)

選択肢	回答数	構成比
甲府市	57	16.8%
富士吉田市	12	3.5%
塩山市	8	2.4%
都留市	9	2.6%
山梨市	12	3.5%
大月市	13	3.8%
韮崎市	9	2.6%
南アルプス市	23	6.8%
北杜市	26	7.6%
甲斐市	31	9.1%
笛吹市	34	10.0%
上野原市	11	3.2%
東山梨郡	8	2.4%
東八代郡	12	3.5%
西八代郡	13	3.8%
南巨摩郡	22	6.5%
中巨摩郡	15	4.4%
北巨摩郡	4	1.2%
南都留郡	18	5.3%
北都留郡	3	0.9%
合計	340	100%

